

●薬価基準収載医薬品（2019.5.29）－報告品目、新キット製品－

【9成分14品目】

内用薬

薬価 収載日	薬効分類名	商品名	規格 単位	薬価 (円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
5/29	選択的セロトニ ン再取り込み阻 害剤(SSRI)	レキサプロ錠 20mg	20mg1 錠	303.50	20mg(PT P):100錠	持田製薬 販売／田辺三菱 製薬 プロモーション提携 ／吉富薬品	エスシタロブ ラムシウ酸 塩	うつ病・うつ状態、社会不安 障害	通常、成人にはエスシタロプラムとして10mgを1日1回夕食後に経口投与す る。なお、年齢・症状により適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけ て行い、1日最高用量は20mgを超えないこととする。	既存の規格(10mg錠)に新規 格(20mg錠)を追加。
5/29	経腸栄養剤 (経口・経管両 用)	イノラス配合経 腸用液	10mL	15.60	187.5mL ×24パウチ	イーエヌ大塚製薬 販売提携／大塚 製薬、大塚製薬 工場	経腸成分 栄養剤	一般に、手術後患者の栄 養保持に用いることができ るが、特に長期にわたり、経口 的食事摂取が困難な場合 の経管栄養補給に使用す る。	通常、成人標準量として1日562.5～937.5mL(900～1,500kcal)を経 管又は経口投与する。経管投与の投与速度は50～400mL/時間とし、持 続的又は1日数回に分けて投与する。経口投与は1日1回又は数回に分け て投与する。なお、年齢、体重、症状により投与量、投与速度を適宜増減す る。	少量で効率的に栄養素・エネ ルギーを補給することを目的に、 最新の栄養学的知見に基づき 配合設計した高濃度 (1.6kcal/mL)の経腸栄養剤 (経口・経管両用)。

注射薬

薬価 収載日	薬効分類名	商品名	規格 単位	薬価 (円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
5/29	気管支喘息治 療剤 慢性蕁麻疹治 療剤	ゾレア皮下注 75mgシリンジ	75mg0. 5mL1筒	23,195	1シリンジ	ノバルティス ファー マ	オマリズマブ (遺伝子 組換え)	1.気管支喘息（既存治療 によっても喘息症状をコント ロールできない難治の患者に 限る） 2.特発性の慢性蕁麻疹 （既存治療で効果不十分 な患者に限る）	1.気管支喘息 通常、オマリズマブ（遺伝子組換え）として1回75～600mgを2又は4週間 毎に皮下に注射する。1回あたりの投与量並びに投与間隔は、初回投与前 の血清中総IgE濃度及び体重に基づき、投与量換算表（略）により設定す る。 2.特発性の慢性蕁麻疹 通常、成人及び12歳以上の小児にはオマリズマブ（遺伝子組換え）として1 回300mgを4週間毎に皮下に注射する。	新キット製品。 調製操作が不要のプレフィルド シリンジ製剤。 投与後には針ガードが自動的 にスライドして注射針を覆うよう になっている。
5/29	(ヒト化抗ヒト IgEモノクローナ ル抗体製剤)	ゾレア皮下注 150mgシリン ジ	150mg 1mL1筒	45,645	1シリンジ					
5/29	GnRHアンタゴ ニスト（徐放 性）／前立腺 癌治療剤	ゴナックス皮下 注用240mg (専用溶解液 添付製品)	240mg 1瓶 (溶解液 付)	34,850	〔維持用 量（12週 ごと）包 装〕：2バイ アル（日 局注射用 水4.2mL 入りシリンジ 2本添付）	アステラス製薬	デガレリクス 酢酸塩	前立腺癌	通常、成人にはデガレリクスとして、初回は240mgを1カ所あたり120mgずつ 腹部2カ所に皮下投与する。2回目以降は、初回投与4週間後より、維持用 量を投与する。4週間間隔で投与を繰り返す場合は、デガレリクスとして 80mgを維持用量とし、腹部1カ所に皮下投与する。12週間間隔で投与を 繰り返す場合は、デガレリクスとして480mgを維持用量とし、1カ所あたり 240mgずつ腹部2カ所に皮下投与する。 初回投与：1カ所あたり、本剤120mgバイアルに日本薬局方注射用水 3.0mLを注入し、溶解後速やかに3.0mLを皮下投与する。（3.0mLで溶 解することにより、40mg/mLとなる。） 維持用量を4週間間隔で投与する場合：本剤80mgバイアルに日本薬局 方注射用水4.2mLを注入し、溶解後速やかに4.0mLを皮下投与する。 （4.2mLで溶解することにより、20mg/mLとなる。） 維持用量を12週間間隔で投与する場合：1カ所あたり、本剤240mgバイ アルに日本薬局方注射用水4.2mLを注入し、溶解後速やかに4.0mLを皮 下投与する。（4.2mLで溶解することにより、60mg/mLとなる。）	既存の皮下注用の規格 (80mg／120mg)に新規格 (240mg)を追加。

薬価 収載日	薬効分類名	商品名	規格 単位	薬価 (円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
5/29	完全ヒト型可溶性TNFα/LTαレセプター製剤	エタネルセプトBS皮下注10mgシリンジ1.0mL「TY」	10mg1mL1筒	3,773	1シリンジ	YLBバイオロジクス販売／帝人ファーマ、陽進堂	エタネルセプト（遺伝子組換え） 〔エタネルセプト後続2〕	既存治療で効果不十分な下記疾患 関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む） 多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎	関節リウマチ 本剤を、通常、成人にはエタネルセプト（遺伝子組換え）〔エタネルセプト後続2〕として10～25mgを1日1回、週に2回、又は25～50mgを1日1回、週に1回、皮下注射する。 多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎 本剤を、通常、小児にはエタネルセプト（遺伝子組換え）〔エタネルセプト後続2〕として0.2～0.4mg/kgを1日1回、週に2回、皮下注射する。（小児の1回投与量は成人の標準用量（1回25mg）を上限とすること）	『エンブレル』のバイオ後続品。
5/29		エタネルセプトBS皮下注25mgシリンジ0.5mL「TY」	25mg0.5mL1筒	9,175	1シリンジ					
5/29		エタネルセプトBS皮下注50mgシリンジ1.0mL「TY」	50mg1mL1筒	18,060	1シリンジ					
5/29		エタネルセプトBS皮下注50mgペン1.0mL「TY」	50mg1mL1キット	18,194	1キット					
5/29	ヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤	シンボニー皮下注50mgオートインジェクター	50mg0.5mL1キット	121,539	50mg×1オートインジェクター	ヤンセンファーマ発売元／田辺三菱製薬	ゴリム Mab（遺伝子組換え）	既存治療で効果不十分な関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む） 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の改善及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）	関節リウマチ メトトレキサートを併用する場合 通常、成人にはゴリム Mab（遺伝子組換え）として50mgを4週に1回、皮下注射する。なお、患者の状態に応じて1回100mgを使用することができる。 メトトレキサートを併用しない場合 通常、成人にはゴリム Mab（遺伝子組換え）として100mgを4週に1回、皮下注射する。 潰瘍性大腸炎 通常、成人にはゴリム Mab（遺伝子組換え）として初回投与時に200mg、初回投与2週後に100mgを皮下注射する。初回投与6週目以降は100mgを4週に1回、皮下注射する。	新キット製品。 利便性向上を目的として、既存の剤形(皮下注50mgシリンジ)に新剤形(皮下注50mgオートインジェクター)追加。

薬価 収載日	薬効分類名	商品名	規格 単位	薬価 (円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
5/29	抗HER2ヒト化 モノクローナル抗 体 抗悪性腫 瘍剤 ※HER2 : Human Epidermal Growth Factor Receptor Type 2 (ヒト 上皮増殖因子 受容体2 型、 別称 : c- erb B-2)	トラスツマブ BS点滴静注 用60mg「ファイザー」	60mg1 瓶	13,683	1バイアル	ファイザー	トラスツマ ブ (遺伝子 組換え) 【トラスツズ マブ後続 3】	HER2過剰発現が確認され た乳癌 HER2過剰発現が確認され た治癒切除不能な進行・再 発の胃癌	HER2過剰発現が確認された乳癌にはA法を使用する。HER2過剰発現が 確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌には他の抗悪性腫瘍剤との 併用でB法を使用する。 A法 : 通常、成人に対して1日1回、トラスツマブ (遺伝子組換え) 【トラ スツズマブ後続3】として初回投与時には4mg/kg (体重) を、2回目以降 は2mg/kgを90分以上かけて1週間間隔で点滴静注する。 B法 : 通常、成人に対して1日1回、トラスツマブ (遺伝子組換え) 【トラ スツズマブ後続3】として初回投与時には8mg/kg (体重) を、2回目以降 は6mg/kgを90分以上かけて3週間間隔で点滴静注する。 なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分 間まで短縮できる。	『ハーセプチン』のバイオ後続 品。
5/29	遺伝子組換え 血液凝固第 VIII因子Fc領 域融合タンパク 質製剤	イロクテイト静 注用4000	4,000 国際単 位1瓶 (溶解液 付)	306,641	4000国際 単位×1バ イアル 【プレフィル ドシリンジ (注射用水 3mL)×1シ リンジ付き】	サノフィ	エフラクトコ グ アルファ (遺伝子 組換え)	血液凝固第VIII因子欠乏 患者における出血傾向の抑 制	本剤を添付の溶解液全量で溶解し、数分かけて緩徐に静脈内に投与する。 通常、1回体重1kg当たり10～30国際単位を投与するが、患者の状態に 応じて適宜増減する。 定期的に投与する場合、通常、1日目に体重1kg当たり25国際単位、4日 目に体重1kg当たり50国際単位から開始し、以降は患者の状態に応じて、 投与量は1回体重1kg当たり25～65国際単位、投与間隔は3～5日の範 囲で適宜調節する。週1回の投与を行う場合は、体重1kg当たり65国際単 位を投与する。	既存の静注用の規格(250／ 500／750／1000／1500 ／2000／3000)に新規格 (4000)追加。

外用薬

薬価 収載日	薬効分類名	商品名	規格 単位	薬価 (円)	包装単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
5/29	経皮吸収型・β ₁ 遮断剤	ピソノテープ 2mg	2mg 1 枚	59.40	70枚((1枚 ×7)×10)	トーアエイヨー 販売／アステラス 製薬	ビスプロロー ル	頻脈性心房細動	通常、成人にはピソプロロールとして1日1回4mgから投与開始し、効果が不 十分な場合には1日1回8mgに増量する。本剤は胸部、上腕部又は背部の いずれかに貼付し、貼付後24時間ごとに貼りかえる。 なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最大投与量は8mgとする。 (※4mg／8mgには『本態性高血圧症 (軽症～中等症)』の効能もあ り。)	既存のテープの規格(4mg／ 8mg)に新規格(2mg)追加。